



トステム株式会社

居室用出窓 (LSB220型 / LSL220型) ・和室用出窓JSL220型(シャッター本体/ガイドレール) 取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡してください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- シャッター本体の脱落や雨漏り・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
 - ・取付けは必ず柱などの躯体に取付けてください。
 - ・本製品は必ず指定のねじで取付けてください。
 - ・本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。
- 取付け時及びスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
- 雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・シャッター本体を取付ける前に、枠のまわりに防水テープが張ってあることを確認してください。

■取付け上のお願

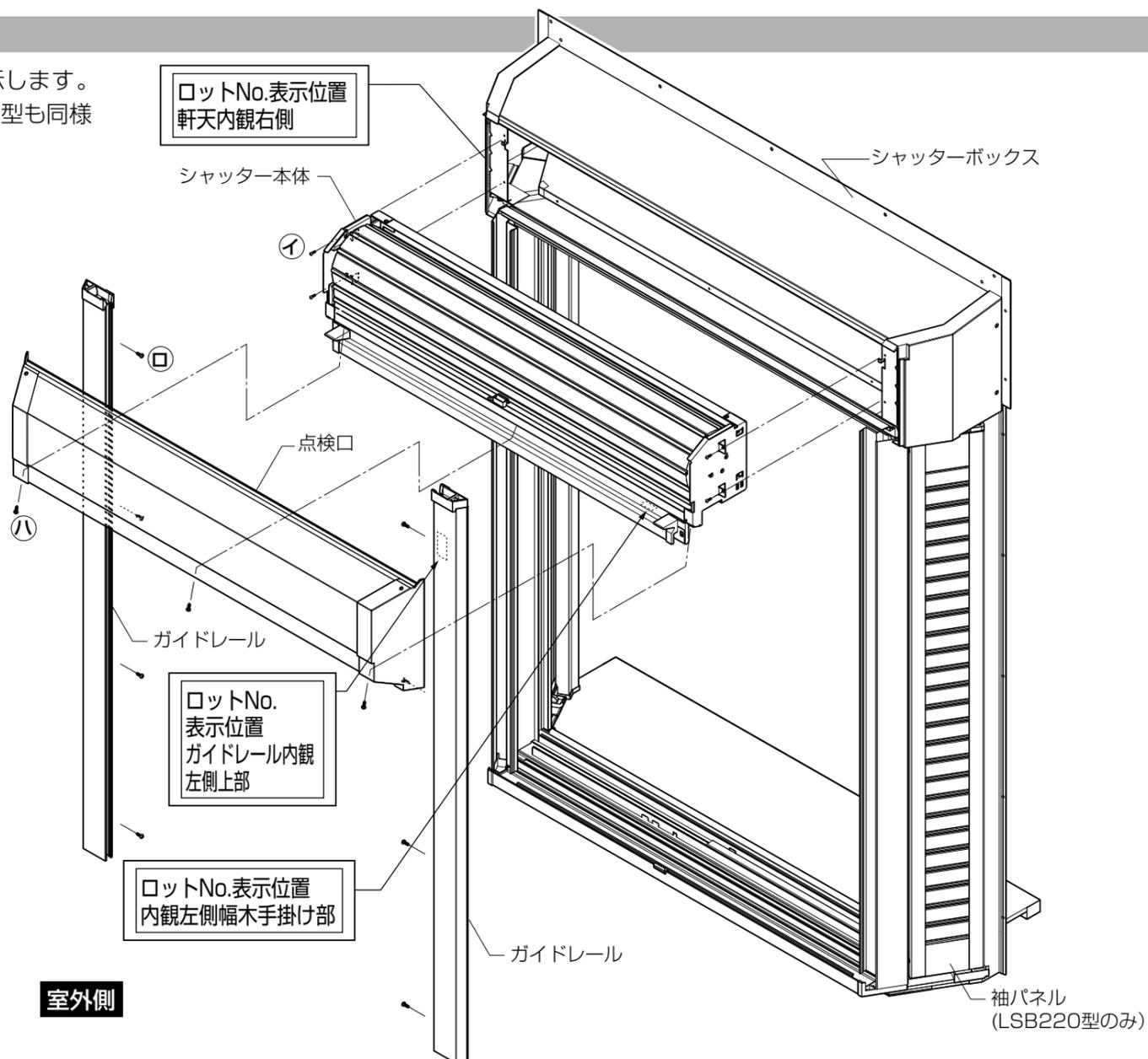
- シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠(水切り)にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- 出窓本体部分の組立て・取付けについては「本体／組立て説明書」、「本体／取付け説明書」をご覧ください。

■取付け部品・ねじ一覧表

イ	ロ	ハ
		
バインド小ねじ M4×10 (D8)	トラスタッピンねじ φ4×8 (D9.4)	バインド小ねじ先付 M4×10 (D8)

■構成図

※図はLSB220型を示します。
LSL220型、JSL220型も同様に取付けてください。



■取付け順序

■ 1 本体の取付け

■取付け詳細

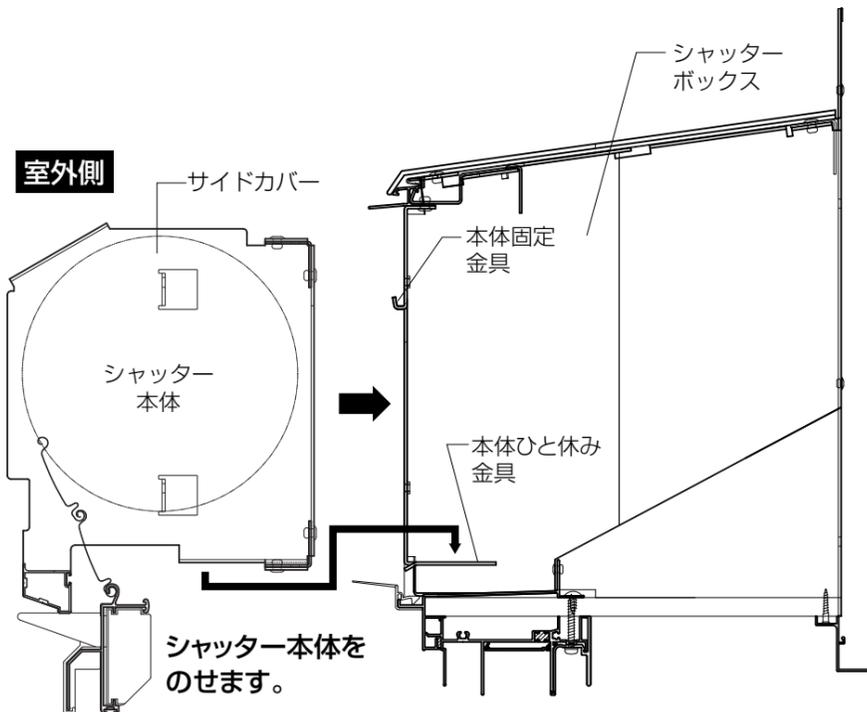
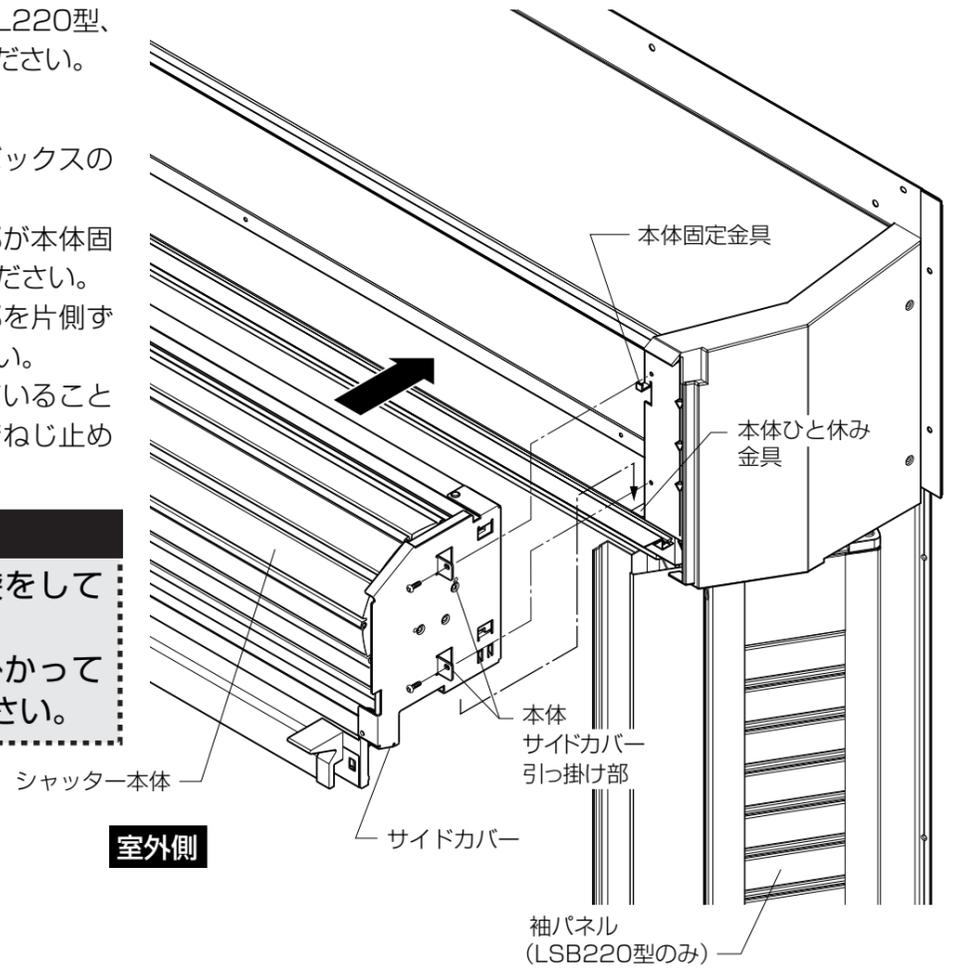
※図はLSB220型を示します。LSL220型、JSL220型も同様に取付けてください。

■ 本体の取付け

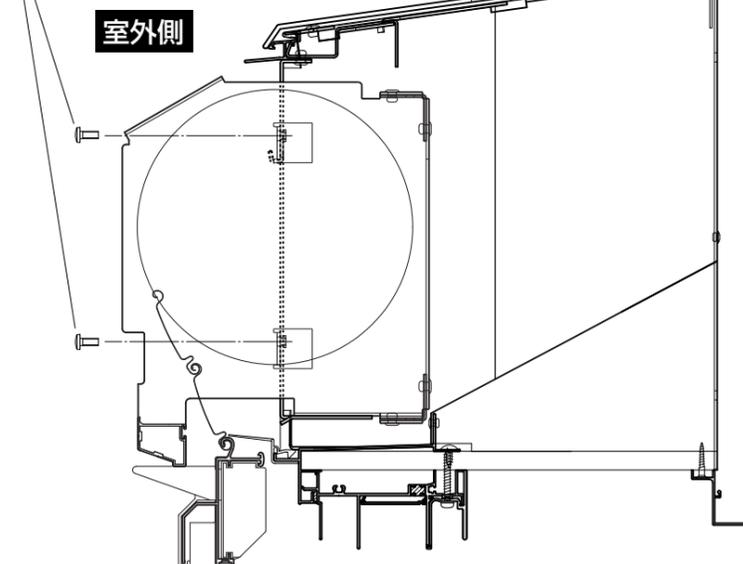
- ①シャッター本体をシャッターボックスのひと休み金具の上にのせます。
- ②本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具に当たるまで押込んでください。
- ③本体サイドカバーの引っ掛け部を片側ずつ本体固定金具に掛けてください。
- ④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、バインド小ねじでねじ止めます。

▲ 注意

- 本体取付けの際は、手袋をしてください。
- 本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。



① バインド小ねじ
M4×10 (D8)

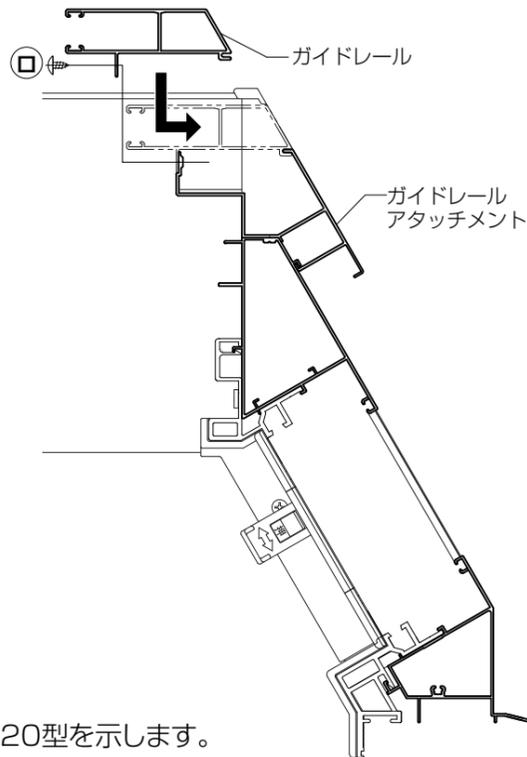


2 ガイドレールの取付け

2 ガイドレールの取付け

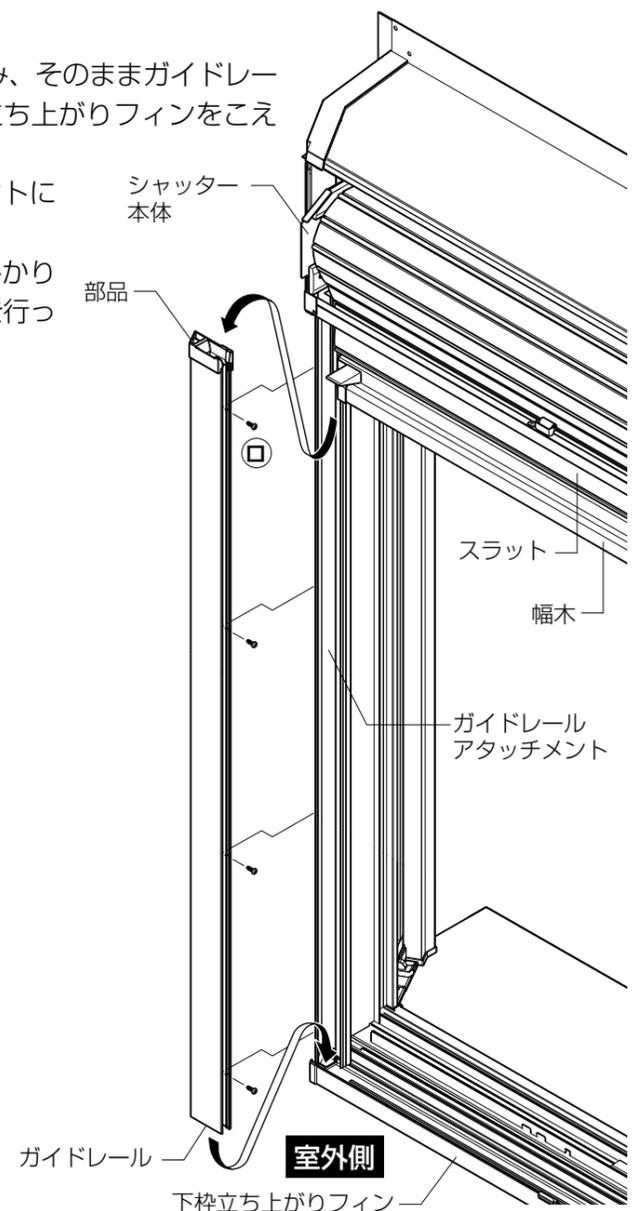
- ①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(部品側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
 - ②ガイドレールをスライドさせ、ガイドレールアタッチメントにはめ込み、タッピンねじで固定します。
- ※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「3 スラットの横ズレの確認」を行ってください。

室外側



室内側

※図はLSB220型を示します。



3 スラットの横ズレの確認

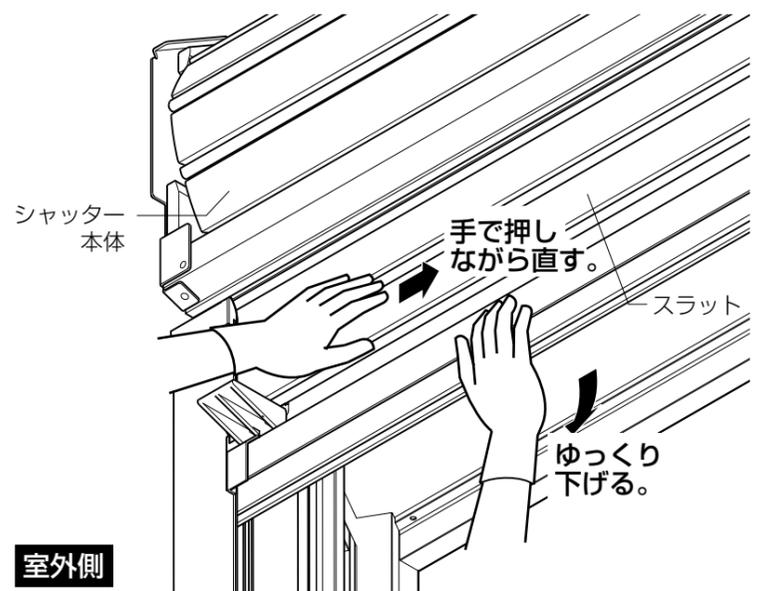
3 スラットの横ズレの確認

- ①幅木の中央を持ち、開口の1/3程度までスラットをゆっくり下げます。
- ※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

注意

●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

- ※ガイドレール・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
 - ※幅木が本体の中に巻き込まれないようにしてください。
- ②スラットをゆっくり上げます。

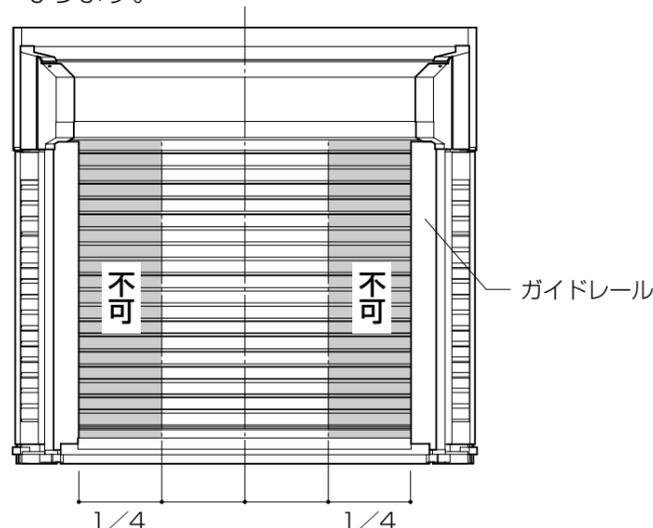


室外側

4 ロック位置の調整と確認

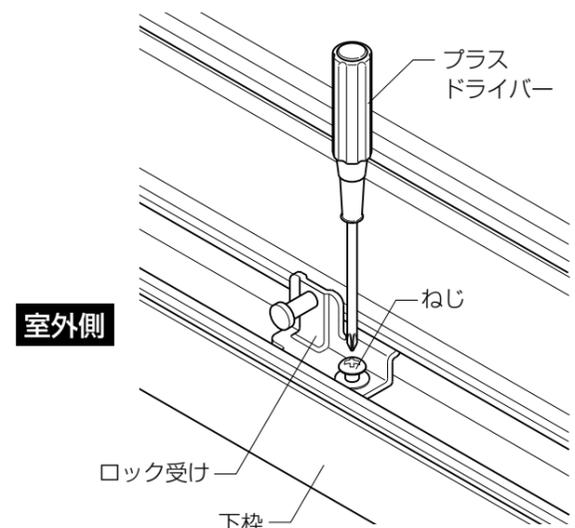
4 ロック位置の調整と確認

- ※使い勝手などのためにロックの位置を変更する場合は、以下の手順に従ってください。
- ※開口の1/4の距離よりもガイドレール寄りにロックを移動させないでください。幅木の端を持って開閉することにつながり、作動不良の原因になります。



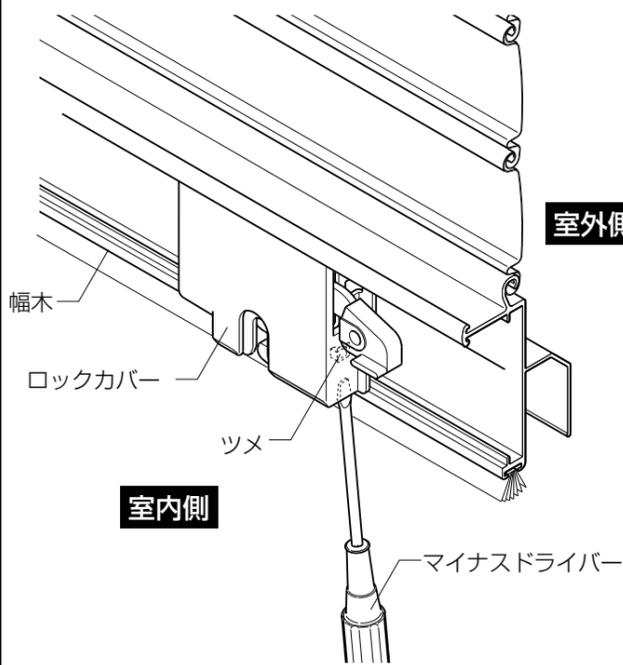
※図はLSB220型を示します。

- ①下枠についているロック受けのねじを緩めてスライドさせ、ねじを締め直します。
- ※ねじは締めすぎないようにしてください。下枠底面が変形する場合があります。
- ※ロック受けのねじのあとが下枠についている場合は、補修ペイント(別途手配)で補修してください。

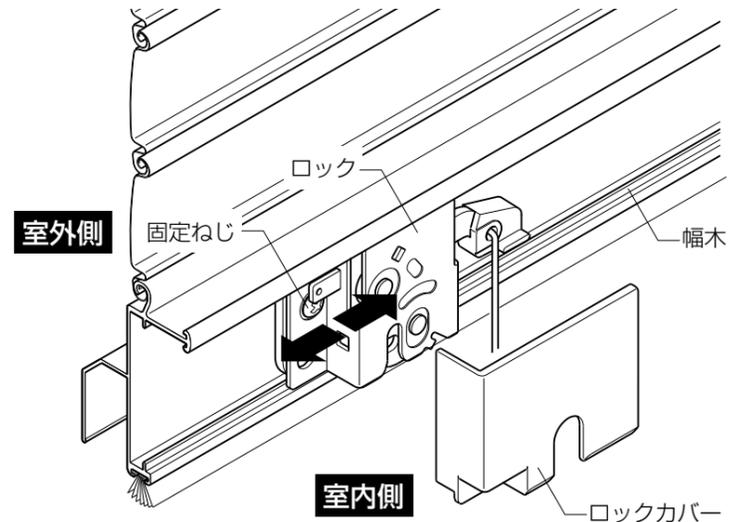


室外側

②幅木についているロックの下からマイナスドライバーなどを差込んでツメを外し、ロックカバーを取外します。



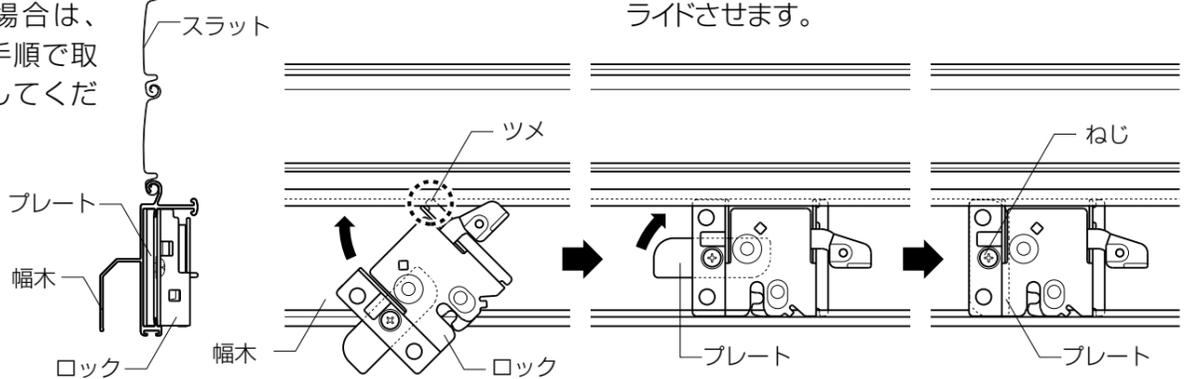
③ロックの固定ねじを緩めます。
④幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠(水切り)のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めします。
⑤数回ロックの施・解錠をくり返し、かかりと作動を確認します。
⑥ロックの固定ねじを締め付け、ロックカバーを正面から押込みます。



■ロックの取付け方法

※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、右記の手順で取付け直ししてください。

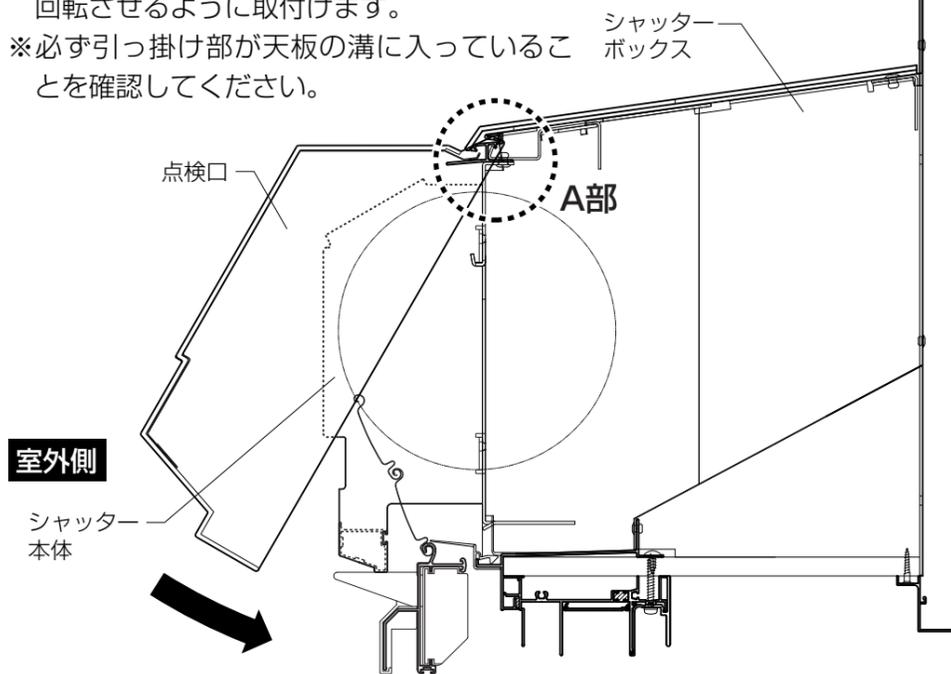
①ロックを傾けてツメを幅木内部に入れます。
②プレートを回転させ、ロックを幅木と水平に起こして取付け位置までスライドさせます。
③プレートを右に回し、縦にしてねじを固定します。



5 点検口の取付け

5 点検口の取付け

①点検口引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。



②点検口の下側から本体へねじ止めします。
※すべての穴に対してねじ止めしてください。

